ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

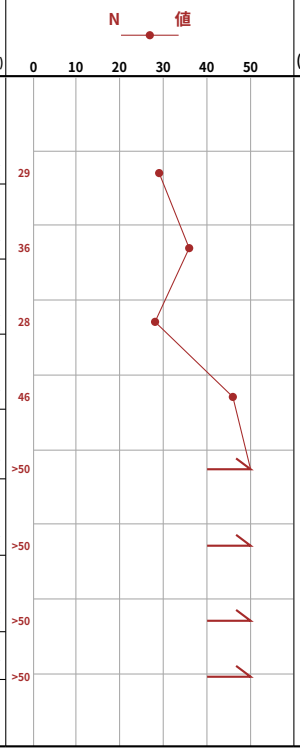
シートNO.

ボーリング名	NO.BV-1	調査位置				北　緯	36 ° 41 ' 14.0000 "
発注機関	栃木県烏山土木事務所			調査期間	2008-11-27 ～ 2009-03-10	東　経	140 ° 06 ' 08.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	139.25 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	8.08 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	138.45	0.80	0.80		表土 (SF)	暗褐灰		軟らかい	上部腐植土、以下砂混じり粘土。二次堆積土。含水比高位。		
1	137.95	0.50	1.30		礫混り粘土 (CH-G)	暗褐灰		中位	粘着強く、礫径2から30mmの円礫混じる二次堆積土。均一に細砂混入。含水比高位。		
2					粘土混り砂礫 (GS-C)	暗褐灰	中ぐらい		礫径2から30mmの亜円、風化礫(腐れ礫)主体。礫間粗中砂、固結状の凝灰質粘土にて充填。3.00から3.60m付近、やや礫少なく細砂所々多く混じる。3.65から4.00m間、含水比は中位から高位。5.30mより礫径2から50mm主体。土質良く締まる。		01/15 3.65
3											
4						暗褐灰	密な				
5											
6											
7											
8	131.17	6.78	8.08								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0-10	10-20	20-30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	5	11	13	29／30	29
1.45					
2.15	10	13	13	36／30	36
2.45					
3.15	8	9	11	28／30	28
3.45					
4.15	12	16	18	46／30	46
4.45					
5.15	18	21	11／5	50／25	>50
5.40					
6.15	17	20	13／6	50／26	>50
6.41					
7.15	15	17	18／8	50／28	>50
7.43					
8.00	50／8			50／8	>50
8.08					



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	掘進月日
1.15	1	A	
2.15	2	A	
3.15	3	A	
4.15	4	A	01/14
5.15	5	A	
6.15	6	A	
7.15	7	A	
8.00	8	A	01/15

室内試験